経営比較分析表

埼玉県　滑川町

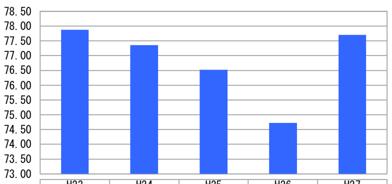
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m^{3}当たり家庭料金(円)
－	該当数値なし	50.33	89.82	2,484

人口（人）	面積(km^2)	人口密度(人/km^2)
17,999	29.68	606.44
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km^2)	処理区域内人口密度(人/km^2)
9,094	2.62	3,470.99

グラフ凡例
■　当該団体値（当該値）
－　類似団体平均値（平均値）
【】　平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①収益的収支比率(%)



	H23	H24	H25	H26	H27
当該値	77.88	77.36	76.52	74.73	77.70
平均値					

「単年度の収支」

②累積欠損金比率(%)

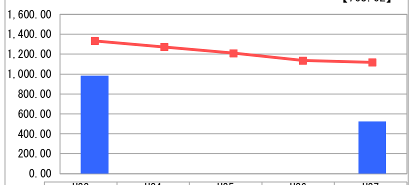
「累積欠損」

③流動比率(%)

「支払能力」

④企業債残高対事業規模比率(%)

【763.62】

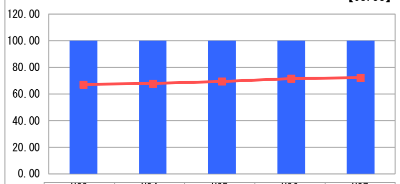


	H23	H24	H25	H26	H27
当該値	982.90	0.00	0.00	0.00	525.63
平均値	1,334.01	1,273.52	1,209.95	1,136.50	1,118.56

「債務残高」

⑤経費回収率(%)

【98.53】

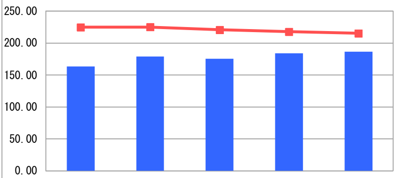


	H23	H24	H25	H26	H27
当該値	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
平均値	67.14	67.85	69.48	71.65	72.33

「料金水準の適切性」

⑥汚水処理原価(円)

【139.70】

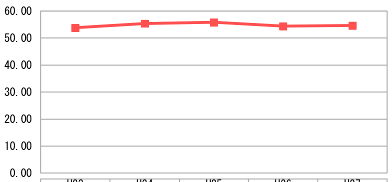


	H23	H24	H25	H26	H27
当該値	163.60	178.99	175.52	183.73	186.43
平均値	224.83	224.94	220.67	217.82	215.28

「費用の効率性」

⑦施設利用率(%)

【60.01】

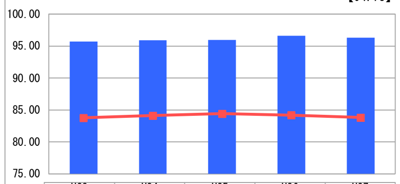


	H23	H24	H25	H26	H27
当該値	－	－	－	－	－
平均値	53.79	55.41	55.81	54.44	54.67

「施設の効率性」

⑧水洗化率(%)

【94.73】

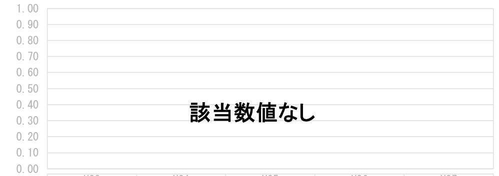


	H23	H24	H25	H26	H27
当該値	95.70	95.90	95.96	96.60	96.31
平均値	83.76	84.12	84.41	84.20	83.80

「使用料対象の捕捉」

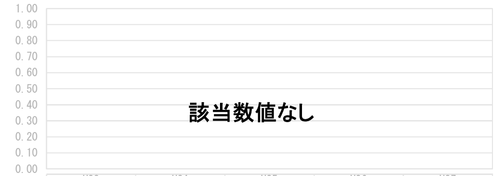
2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)



「施設全体の減価償却の状況」

②管渠老朽化率(%)



「管渠の経年化の状況」

③管渠改善率(%)

【0.23】

	H23	H24	H25	H26	H27
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.01	0.10	0.07	0.04	0.11

「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

　収益的収支については、100%未満であることから、経営改善に向けた取り組みが必要である。
　企業債残高対事業規模比率については、今後、償還が進み公債比率の低下が見込まれることからも、投資規模の検討が必要である。
　経費回収率は、類似団体を上回っており、使用料で改修すべき経費を賄えているが、これは、一般会計繰入金により保たれている状況である。
　汚水処理原価については、類似団体平均値を下回っているが、効率的な汚水処理が実施されているが検討の必要がある。
　水洗化率にいては、類似団体を大きく上回っているが、公共水域の水質保全や、使用料収入の増加の観点から、100%を目指して普及啓蒙活動の必要がある。

2. 老朽化の状況について

　管渠の老朽化はあまり見られていないが、経常的に維持管理業務を実施し、長寿命化を図ることが必要である。

全体総括

　下水道整備の拡大を目的に継続的に投資を図ってきたが、今後は将来の財政収支を踏まえ、健全な経営が確保できる投資額の検討を進める必要がある。
　また、今後は、施設の老朽化に伴う修繕の増加により維持管理費の増加を見込まれるが、経費を抑制するため、修繕費を含んだ創意工夫が必要となる。
　また、流域下水道処理場の維持管理負担金の増加に伴い、適正な使用料の見直しを視野に入れた検討が必要となる。

※　法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
※　平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。